

令和2年度 財務の概要

福岡北九州高速道路公社

目 次

1. 会計処理の特徴	1
2. 償還準備金積立方式のしくみ	2
3. 収支状況	3
4. 営業中道路の収支状況	5
5. 財務状況	6
6. 償還準備金の積立状況	8
7. 長期借入金の残高状況	9
8. 償還計画と実績の対比	10
9. キャッシュフロー計算書	11
10. 料金収入・通行台数・供用延長の推移	12
11. 供用実績	13

1. 会計処理の特徴

公社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、企業会計原則に準じた会計処理を行っています。

＜根拠法令等＞ 地方道路公社法、同法施行規則、福岡北九州高速道路公社会計規程、同規程実施細則

有料道路制度の会計の特徴は

- 有料道路事業制度は、借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により定められた期間内に償還し、償還完了後は無料開放する制度です。
- 毎年度の『収支差』（収入と費用の差）は全て投下資金（借入金）の償還に充当します。

借入金の償還状況を適切に把握するために

- 福岡北九州高速道路公社は、利益を配当する義務がなく、法人税法上の公共法人であるため、法人税を課せられたりすることがなく、収支差の全てを償還に充当します。
- 有料道路事業制度は、無料開放を実現するとの観点から、借入金の償還状況を会計処理において適切に把握するため、新たな設備投資資金を積み立てるという企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上する方式は採用していません。

償還準備金積立方式を採用

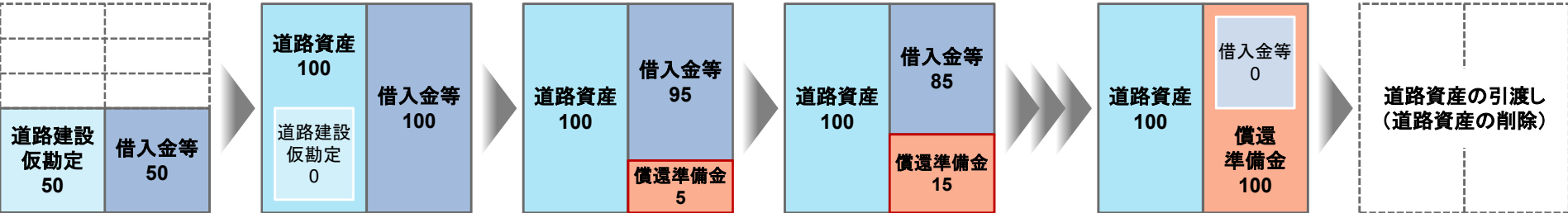
- 借入金の償還に充てられる各年度の『収支差』を『償還準備金繰入』として費用計上し、その累計額を『償還準備金』として負債に計上する方式を採用しています。
- 道路の資産を形成するのに要した費用を積み上げた『道路資産』と借入金の返済に充てる『償還準備金』を対比することにより、償還状況が明確に把握できます。

2. 償還準備金積立方式のしくみ

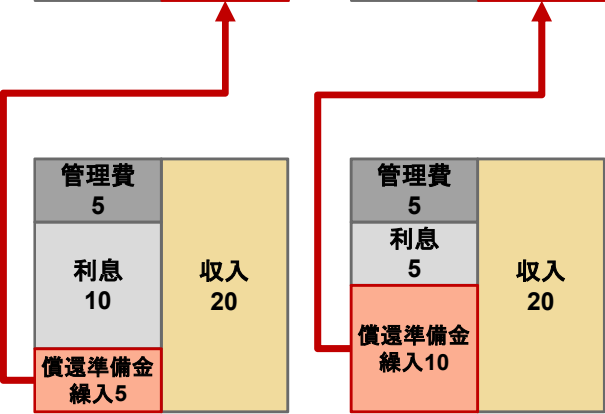
公社の貸借対照表と損益計算書にみる償還準備金積立方式のしくみ



貸借対照表



損益計算書



3. 収支状況

令和2事業年度損益計算書 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:百万円)

費用の部				収益の部			
勘定科目	R2年度	R1年度	増減額	勘定科目	R2年度	R1年度	増減額
	A	B	A-B		A	B	A-B
経常費用	51,664	60,819	△ 9,155	経常収益	51,688	60,843	△ 9,154
事業資産管理費	14,773	16,065	△ 1,292	業務収入	51,419	60,762	△ 9,343
福岡高速道路管理費	10,002	11,023	△ 1,021	道路料金収入	50,817	60,118	△ 9,301
北九州高速道路管理費	4,646	4,908	△ 262	(福岡高速道路)	35,907	42,614	△ 6,707
福岡駐車場管理費	77	84	△ 8	(北九州高速道路)	14,910	17,504	△ 2,594
北九州駐車場管理費	49	49	△ 1	ETCマイレージ還元負担金収入	192	220	△ 28
一般管理費	1,468	1,448	20	(福岡高速道路)	170	195	△ 25
一般管理費	1,280	1,265	15	(北九州高速道路)	22	25	△ 3
その他	188	182	5	駐車場料金収入	220	232	△ 11
引当金等繰入	31,686	39,201	△ 7,515	(福岡駐車場)	112	124	△ 12
道路事業損失補てん引当金繰入	2,310	2,758	△ 448	(北九州駐車場)	108	107	1
(福岡高速道路)	1,632	1,955	△ 323	その他	190	193	△ 3
(北九州高速道路)	678	803	△ 125	受託業務収入	146	36	110
償還準備金繰入	29,377	36,443	△ 7,066	負担金事業受入金	0	0	0
(福岡高速道路)	21,613	26,698	△ 5,086	業務外収益	123	44	79
(北九州高速道路)	7,764	9,745	△ 1,981	受取利息	0	0	△ 0
受託業務費	146	36	110	雑益 他	123	44	80
負担金事業費	0	0	0	特別利益	0	590	△ 590
業務外費用	3,590	4,069	△ 478	道路事業損失補てん引当金取崩益	0	364	△ 364
債券利息	2,982	3,298	△ 316	災害復旧事業費補助金収入	0	226	△ 226
借入金利息	459	615	△ 156				
雑損 他	149	155	△ 7				
特別損失	0	590	△ 590				
災害による損失	0	590	△ 590				
当期利益金	25	24	1				
合 計	51,688	61,433	△ 9,744	合 計	51,688	61,433	△ 9,744

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

【道路部門】

(1) 福岡高速道路

- ① 経常収益は、362億6,700万円(対前年度比66億9,800万円の減)となりました。これは、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴う移動制限や外出自粛等により通行台数が減り、高速道路料金収入が減少したためです。(通行台数は、前年度に比べ1日当たり30,870台の減少)
- ② 経常費用(償還準備金繰入を除く)は、146億5,500万円(対前年度比16億1,200万円の減)となりました。これは主に、納付消費税の減に伴う事業資産管理費の減、及び道路料金収入の減に伴う損失補てん引当金の減少によるものです。
- ③ 道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、216億1,300万円(対前年度比50億8,600万円の減)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当しました。

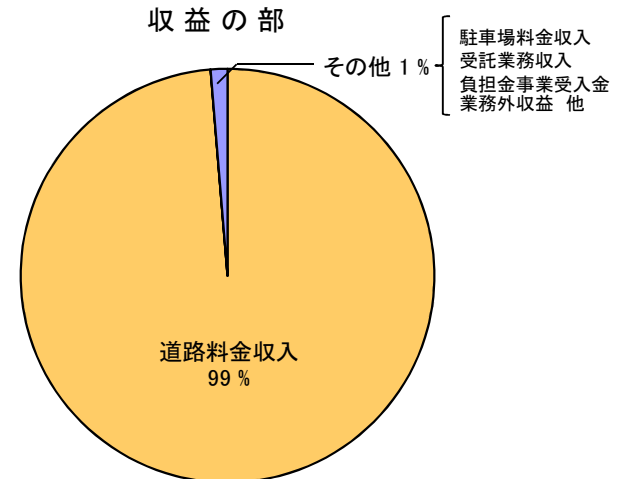
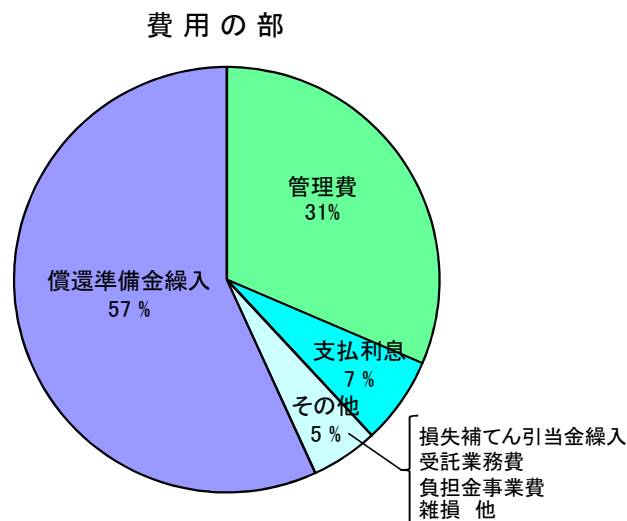
(2) 北九州高速道路

- ① 経常収益は、150億4,900万円(対前年度比25億5,900万円の減)となりました。これは、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴う移動制限や外出自粛等により通行台数が減り、高速道路料金収入が減少したためです。(通行台数は、前年度に比べ1日当たり14,455台の減少)
- ② 経常費用(償還準備金繰入を除く)は、72億8,500万円(対前年度比5億7,800万円の減)となりました。これは主に、道路補修費及び金利低下等による支払利息の減少によるものです。
- ③ 道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、77億6,400万円(対前年度比19億8,100万円の減)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当しました。

【駐車場部門】

- ① 当期利益は2,500万円(対前年比100万円の増)となりました。

☆損益計算書の内訳(道路部門・駐車場部門の合計)



4. 営業中道路の収支状況(収支率)

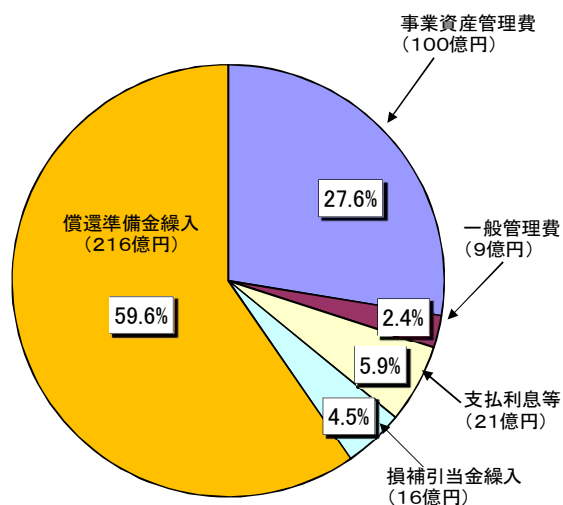
「収支率」は、100円の収入を得るのにどのくらいの費用が必要であったかを示すもの。

(単位: 百万円)

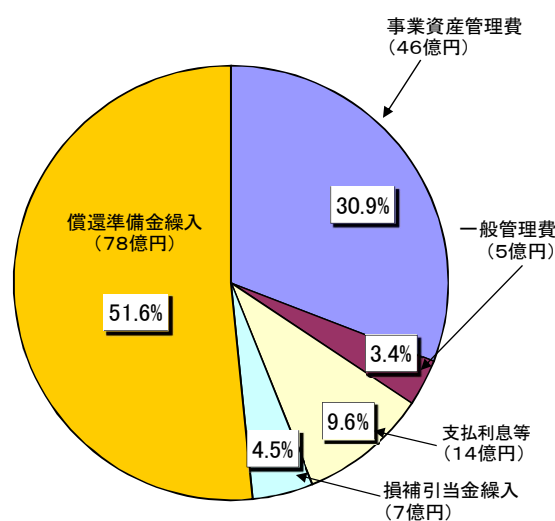
	福岡高速道路								北九州高速道路								合 計							
	収益 A	営業中道路に係る費用					償還 準備金 繰入額 A－B	収支率 B/A× 100	収益 A	営業中道路に係る費用					償還 準備金 繰入額 A－B	収支率 B/A× 100	収益 A	営業中道路に係る費用					償還 準備金 繰入額 A－B	収支率 B/A× 100
		事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B				事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B				事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B		
R02	36,267	10,002	871	2,149	1,632	14,655	21,613	40.4%	15,049	4,646	521	1,441	678	7,285	7,764	48.4%	51,317	14,648	1,392	3,590	2,310	21,940	29,377	42.8%
R01	42,965	11,023	891	2,398	1,955	16,267	26,698	37.9%	17,608	4,908	481	1,671	803	7,863	9,745	44.7%	60,573	15,932	1,372	4,069	2,758	24,130	36,443	39.8%

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

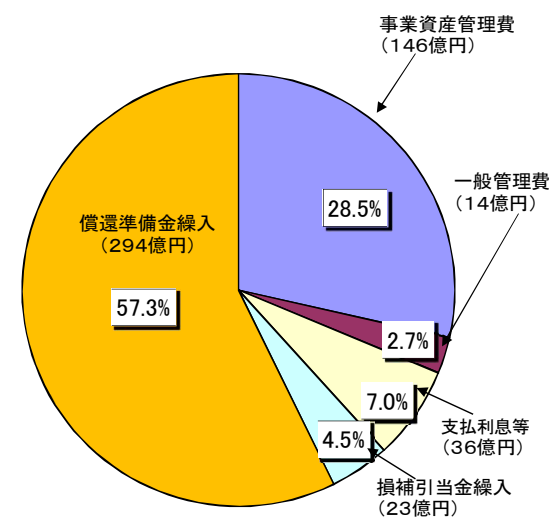
福岡高速(費用の内訳)



北九州高速(費用の内訳)



合 計(費用の内訳)



5. 財務状況

令和2事業年度貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部				負 債 及 び 資 本 の 部			
勘 定 科 目	R2年度	R1年度	増減額	勘 定 科 目	R2年度	R1年度	増減額
	A	B	A－B		A	B	A－B
流動資産	14,715	9,097	5,617	流動負債	44,870	50,986	△ 6,116
固定資産	1,282,879	1,273,515	9,364	固定負債	439,884	451,515	△ 11,630
事業資産	1,279,732	1,254,888	24,843	福岡北九州高速道路債券	325,400	323,800	1,600
(福岡高速道路)	903,623	878,843	24,780	長期借入金	107,274	120,512	△ 13,238
(北九州高速道路)	376,108	376,046	63	退職給与引当金	176	152	24
事業資産建設仮勘定	0	15,796	△ 15,796	ETCマイレージ引当金	145	162	△ 16
(福岡高速道路)	0	15,796	△ 15,796	資産見返交付金	6,889	6,889	0
(北九州高速道路)	0	0	0				
有形固定資産	1,542	1,638	△ 96	特別法上の引当金等	587,925	556,239	31,686
その他	1,606	1,193	413	道路事業損失補てん引当金	39,960	37,650	2,310
				(福岡高速道路)	16,794	15,162	1,632
				(北九州高速道路)	23,165	22,488	678
繰延資産	840	885	△ 45	償還準備金	547,965	518,589	29,377
				(福岡高速道路)	450,528	428,915	21,613
				(北九州高速道路)	97,437	89,674	7,764
				(負債合計)	1,072,679	1,058,739	13,940
				基本金	224,631	223,659	972
				剰余金	1,124	1,100	25
				(資本合計)	225,755	224,758	997
資 産 合 計	1,298,434	1,283,497	14,937	負 債・資 本 合 計	1,298,434	1,283,497	14,937

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(資産の状況)

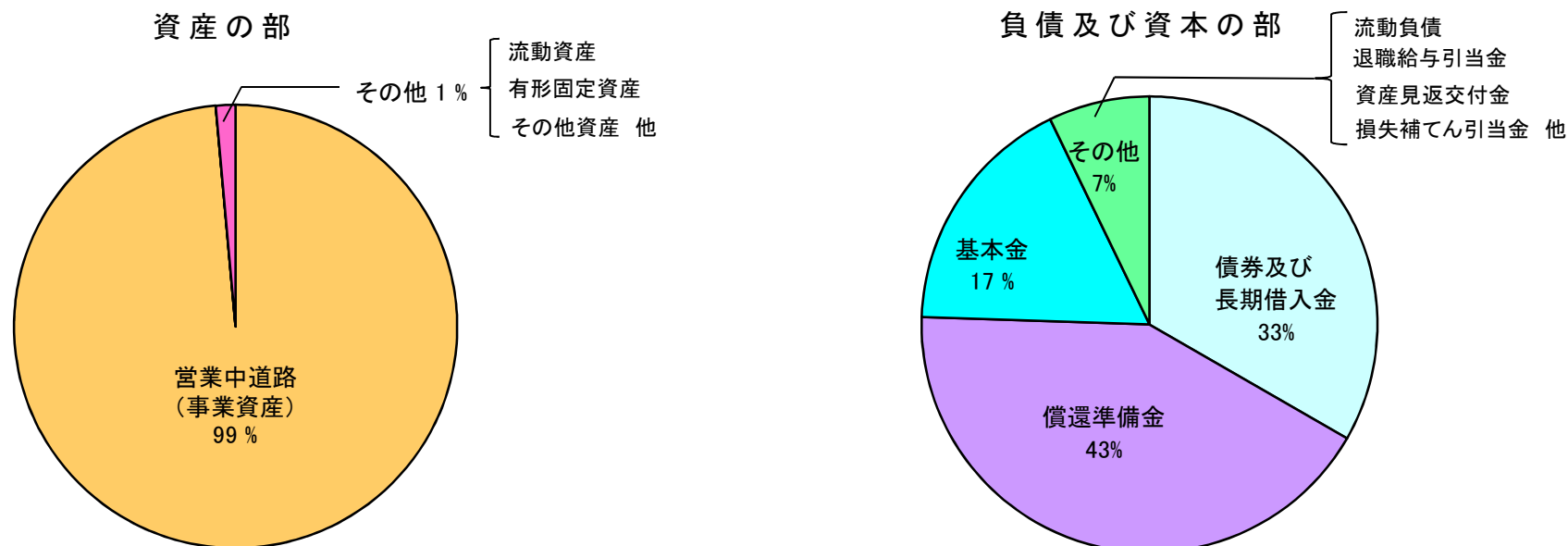
資産の総額は、1兆2,984億3,400万円となっています。このうち、営業中の道路資産は1兆2,797億3,200万円となっており、これらの道路資産が資産全体の約99%を占めています。

(負債及び資本の状況)

負債及び資本の総額は、1兆2,984億3,400万円となっています。主なものは、道路債券などの借入金残高が4,692億円(流動負債計上分の1年以上返済予定債券・借入金365億2,600万円及び固定負債計上分4,326億7,400万円の合計額)、営業中道路の建設・改良に投下した借入金の返済に充てた額(償還準備金)が5,479億6,500万円(福岡高速4,505億2,800万円、北九州高速974億3,700万円)、地方公共団体からの出資金が2,246億3,100万円となっています。

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

☆貸借対照表の内訳



6. 償還準備金の積立状況

【福岡高速道路】

(単位: 百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A-B)	償還率 (B/A) × 100
R02	901,310	450,528	450,782	50.0%
R01	876,529	428,915	447,614	48.9%

【北九州高速道路】

(単位: 百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A-B)	償還率 (B/A) × 100
R02	371,532	97,437	274,095	26.2%
R01	371,470	89,674	281,796	24.1%

「営業中道路(償還対象額)」とは、営業中道路の建設に投下した額の合計額(営業中道路の資産総額)から、償還を要しない資産見返交付金を控除した額。

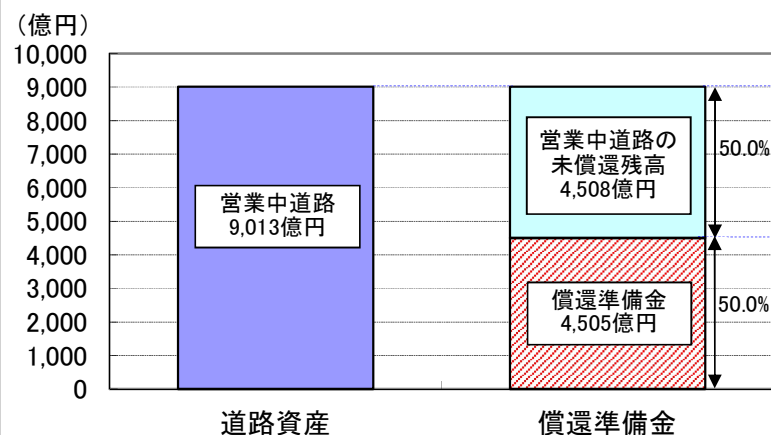
「償還準備金」とは、当該年度末までの償還準備金繰入額の累計額。

「未償還残高」とは、営業中道路について今後償還準備金を積み立てて、返済をしていくことになる金額。

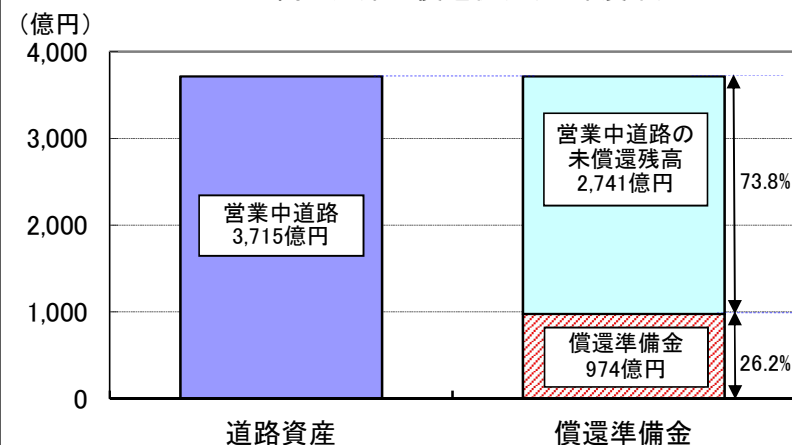
(単位: 百万円)

	営業中道路の 資産総額 (a)	資産見返 交付金 (b)	営業中道路 (償還対象額) (a-b)
福岡高速道路	903,623	2,313	901,310
北九州高速道路	376,108	4,576	371,532

福岡高速道路の償還状況(R2年度末)



北九州高速道路の償還状況(R2年度末)



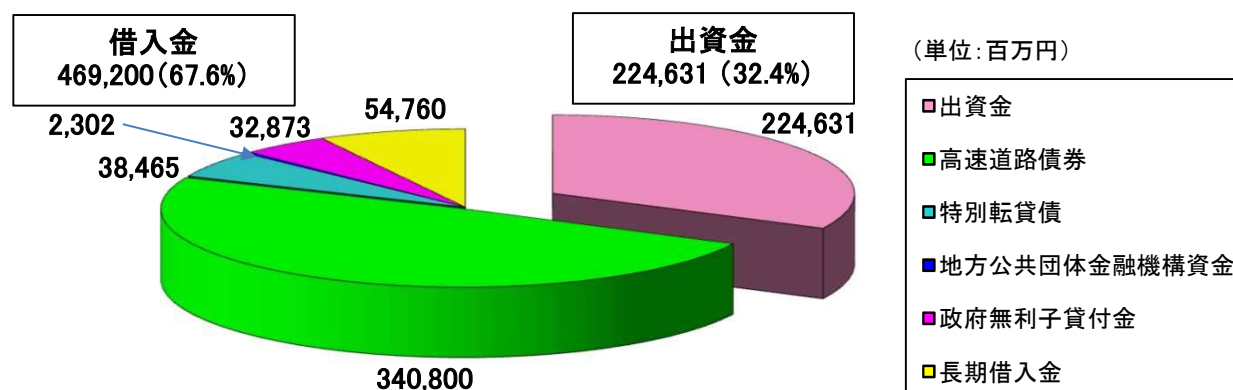
7. 長期借入金の残高状況

令和2年度末借入金残高

(単位:百万円)

		全 体			路線別内訳					
					福岡高速			北九州高速		
		R2年度	R1年度	増減額	R2年度	R1年度	増減額	R2年度	R1年度	増減額
		A	B	A-B	A	B	A-B	A	B	A-B
設立団体出資金		224,631	223,659	972	167,135	166,163	972	57,496	57,496	0
借入金	高速道路債券	340,800	338,800	2,000	187,464	183,358	4,106	153,336	155,442	△ 2,106
	特別転貸債	38,465	48,410	△ 9,946	33,985	42,285	△ 8,300	4,480	6,125	△ 1,645
	地方公共団体金融機構資金	2,302	3,301	△ 999	1,908	2,683	△ 774	394	618	△ 224
	政府無利子貸付金	32,873	38,940	△ 6,067	27,389	31,990	△ 4,601	5,484	6,950	△ 1,467
	長期借入金	54,760	59,385	△ 4,625	22,507	25,752	△ 3,245	32,253	33,633	△ 1,380
	計	469,200	488,836	△ 19,636	273,254	286,068	△ 12,814	195,946	202,769	△ 6,823
合計		693,830	712,495	△ 18,664	440,389	452,231	△ 11,842	253,441	260,264	△ 6,823

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。



8. 償還計画と実績の対比

【令和2年度決算】

(単位: 億円)

道路名		収益(a)	費用(b)				償還準備金繰入 (a-b)	償還準備金	事業資産 (交付金除く)	償還率(%)
			管理費(うち消費税)	損失補てん	金利	合計				
合 計	決算	513	160 (24)	23	36	219	294	5,480	12,728	43%
	計画	544	179 (24)	25	74	279	265	5,450	12,728	43%
福岡高速	決算	363	109 (14)	16	21	147	216	4,505	9,013	50%
	計画	344	133 (16)	16	22	170	173	4,463	9,013	50%
北九州高速	決算	150	52 (10)	7	14	73	78	974	3,715	26%
	計画	200	46 (8)	10	53	109	92	988	3,715	27%

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

●償還計画の対比方法

令和2年度決算(損益計算)と償還計画(収支計算)を比較するため、計画の値に調整を加えています。

償還計画は、福岡高速は令和3年3月料金認可を、北九州高速は平成20年10月料金認可を使用しています。

償還率は、償還準備金を事業資産から交付金を差し引いたもので除して算出しています。

●損失補てん引当金

損失補てん引当金は、個々の道路で将来事情の不可測性等により償還計画満了時に借入金等が残った場合に備えて、その補てんに充てるため料金収入の一部を積み立てているもので、道路整備特別措置法に定められています。

すなわち損失補てん金は、決算では費用として扱っていますが、将来のリスクに備え、公社の経営の安定を図る内部保留金としての性格を持っており、その額は借入金の返済余裕を表しています。

9. 令和元・令和2事業年度福岡北九州高速道路公社キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	R 2 事業 年度 A	R 元事業 年度 B	増減額 A－B
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
当期償還準備金繰入	293.8	364.4	△ 70.7
当期利益	0.2	0.2	0.0
減価償却費	1.7	1.6	0.0
債券発行諸費等償却	1.2	1.3	0.0
退職給与引当金等の増減額	0.2	0.1	0.1
E T Cマイレージ引当金の増減額	△ 0.2	0.0	△ 0.2
損失補てん引当金の増減額	23.1	23.9	△ 0.8
債券利息	29.8	33.0	△ 3.2
借入金利息	4.6	6.2	△ 1.6
未収金(投資活動、財務活動を除く)の増減額	△ 7.8	0.9	△ 8.7
未払金(投資活動、財務活動を除く)の増減額	0.3	13.3	△ 13.0
その他の増減額	△ 0.7	0.2	△ 0.9
小 計	346.3	445.2	△ 98.9
利息の受取額	0.0	0.0	0.0
債券利息等の支払額	△ 30.3	△ 33.4	3.2
借入金利息の支払額	△ 4.7	△ 6.2	1.6
営業活動によるキャッシュ・フロー	311.4	405.5	△ 94.2
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
事業資産の取得による支出	△ 11.9	△ 11.3	△ 0.6
建設仮勘定の取得による支出	△ 64.0	△ 66.6	2.7
固定資産の取得による支出	△ 0.9	△ 1.7	0.8
事業資産等の売却による収入	1.2	0.0	1.2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 75.6	△ 79.6	4.1
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入による収入	0.0	0.0	0.0
短期借入金の返済による支出	0.0	0.0	0.0
長期借入による収入	78.8	88.8	△ 10.0
長期借入金の返済による支出	△ 295.2	△ 361.2	66.0
債券の発行による収入	169.3	239.1	△ 69.8
債券の償還による支出	△ 150.0	△ 282.0	132.0
出資金の受入による収入	9.7	7.2	2.5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 187.4	△ 308.2	120.7
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0.0	0.0	0.0
V 現金及び現金同等物の増加額	48.4	17.7	30.6
VI 現金及び現金同等物期首残高	36.3	18.5	17.7
VII 現金及び現金同等物期末残高	84.6	36.3	48.4

※端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(注記) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金・預金	84.6 億円	36.3 億円	48.4 億円
現金及び現金同等物	84.6 億円	36.3 億円	48.4 億円

10. 料金収入・通行台数・供用延長の推移（全体）

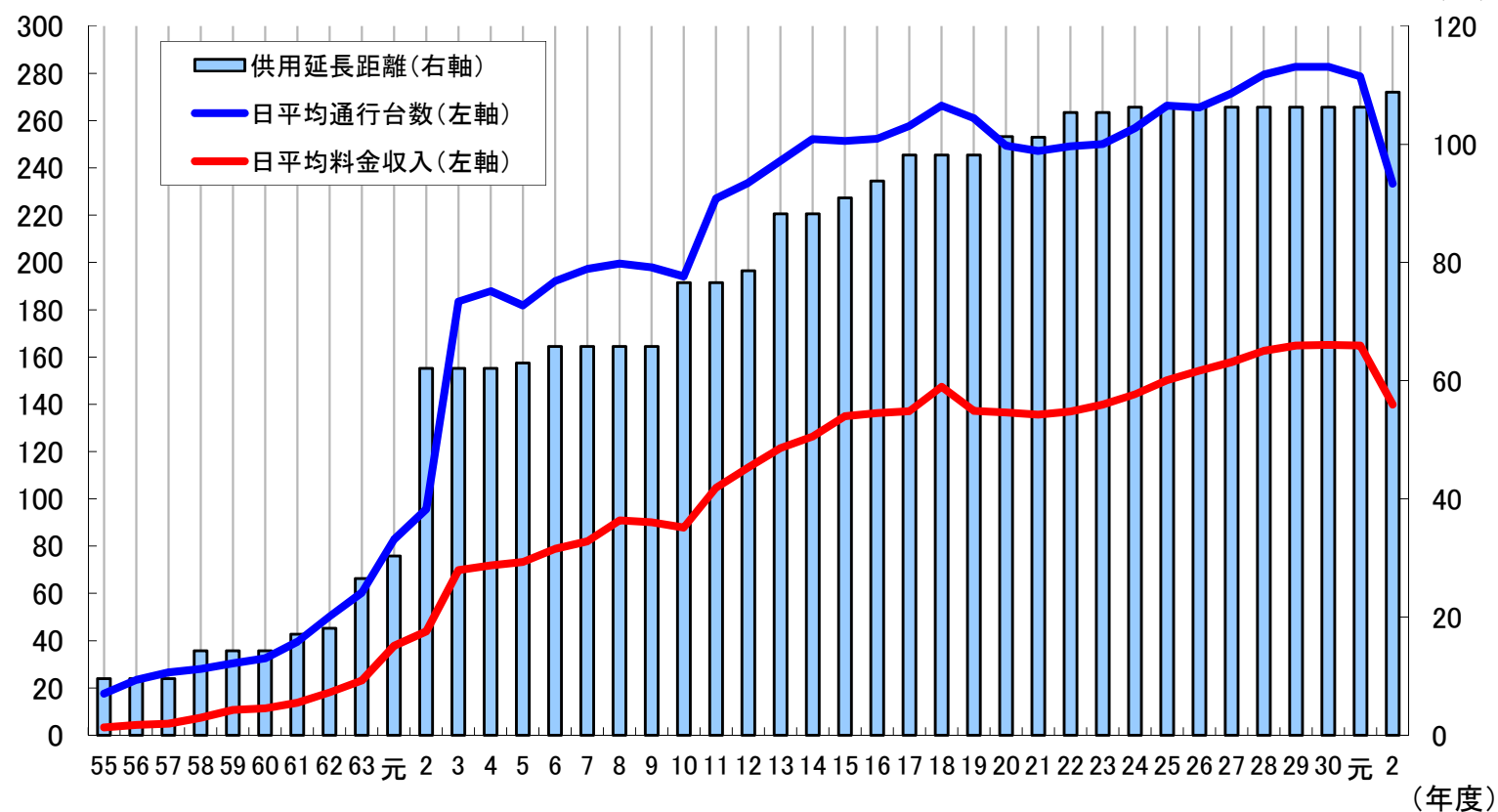
令和2年度

料金収入 **511億円**

日平均料金収入 **1.4億円**

日平均通行台数 **23.3万台**

日平均料金収入・通行台数
(百万円・千台)



供用延長距離	
令和3年3月末現在 108.8km	
料 金	
福岡高速	
普通車	630円
大型車1,	260円
北九州高速	
普通車	520円
大型車1,	050円

1 1 . 供用実績

〔福岡高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55. 10. 20	5. 9	5. 9	香椎～東浜	400	200
	S57. 3. 27	－	5. 9	貝塚入口		
	S58. 6. 30	－	5. 9	貝塚出口		
二次供用	S58. 10. 6	1. 5	7. 4	東浜～築港	700	350
三次供用	S61. 4. 23	0. 8	8. 2	千鳥橋 J C T～呉服町		
四次供用	S62. 11. 6	1. 0	9. 2	築港～天神北	800	400
五次供用	S63. 10. 31	2. 1	11. 3	天神北～西公園		
				千鳥橋 J C T (渡り線)		
六次供用	H1. 3. 4	5. 2	16. 5	西公園～百道	1, 000	500
				呉服町～榎田		
				豊 J C T～空港通		
	H1. 10. 1	－	16. 5	料金改定 (消費税3%転嫁)	1, 030	510
	H2. 12. 25	－	16. 5	名島本線料金所拡幅		
	H3. 3. 21	－	16. 5	東浜西出口		
	H4. 4. 23	－	16. 5	名島出入口		
	H4. 7. 1	－	16. 5	東浜西入口		
	H5. 4. 2	0. 9	17. 4	香椎東～香椎		
七次供用	H6. 4. 4	2. 8	20. 2	榎田～月隈北	1, 100	550
	H9. 6. 1	－	20. 2	料金改定 (回数通行券料金)		
九次供用	H11. 3. 27	10. 8	31. 0	月隈～水城		
	H12. 3. 28	－	31. 0	貝塚 J C T～粕屋	1, 200	600
十次供用	H12. 11. 21	0. 5	31. 5	貝塚 J C T (渡り線)		
十一次供用	H13. 10. 13	5. 3	36. 8	百道～福重	1, 230	620
十二次供用	H14. 3. 10	1. 9	38. 7	粕屋～福岡 I C		
	H15. 5. 1	－	38. 7	料金改定		
十三次供用	H15. 5. 1	2. 7	41. 4	月隈 J C T～板付	1, 260	630
十四次供用	H16. 6. 27	2. 9	44. 3	西月隈出入口・板付～野多目		
十五次供用	H18. 3. 26	4. 4	48. 7	野多目～堤		
十六次供用	H20. 4. 19	3. 1	51. 8	堤～野芥	1, 260	630
	H23. 2. 26	4. 1	55. 9	野芥～福重		
	H24. 7. 21	0. 9	56. 8	福重 J C T (渡り線)		
十八次供用	H26. 4. 1	－	56. 8	料金改定 (消費税5%→8%)	1, 260	630
	R1. 10. 1	－	56. 8	料金改定 (消費税8%→10%)		
十九次供用	R3. 3. 27	2. 5	59. 3	香椎浜 J C T～アイランドシティ	1, 260	630
備 考	福岡高速全号線に、ETC導入 (H18. 4. 1)					

(注) 料金改定日は、一次供用を除き供用年月日の翌日です。但し、料金改定のみの場合は同日です。

〔北九州高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55. 10. 20	3. 7	3. 7	日明～篠崎北	300	150
二次供用	S58. 10. 6	3. 2	6. 9	篠崎北～若園	700	350
				東港出入口		
	S59. 4. 21	－	6. 9	篠崎南出口		
三次供用	S61. 12. 2	2. 0	8. 9	若園～横代		
				篠崎南入口		
四次供用	S63. 12. 17	1. 1	10. 0	愛宕 J C T～下到津		
五次供用	H1. 8. 30	2. 8	12. 8	日明～戸畑（消費税3%転嫁）	720	360
六次供用	H2. 3. 31	1. 0	13. 8	戸畑～若戸		
				東港 J C T～小倉駅北		
				西港出口		
				東港出入口廃止		
七次供用	H3. 3. 31	31. 8	45. 6	春日～馬場山 一部区間料金（4号線）	300	150
					400	200
					500	250
					600	300
					720	360
	H5. 4. 1	－	45. 6	料金改定	720	360
	H7. 9. 30	－	45. 6	山路出入口	900	450
	H9. 6. 1	－	45. 6	料金改定（回数通行券料金）		
八次供用	H12. 7. 26	1. 5	47. 1	長野～横代	1, 000	500
	H12. 11. 1	－	47. 1	料金改定		
九次供用	H13. 7. 2	2. 4	49. 5	枝光出入口～大谷出入口 大谷 J C T		
十次供用	H18. 2. 26	－	49. 5	小倉東IC接続	1, 030	510
	H26. 4. 1	－	49. 5	料金改定（消費税5%→8%）		
	R1. 10. 1	－	49. 5	料金改定（消費税8%→10%）	1, 050	520
備 考	九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛出口を新設（H17. 3. 31供用） 九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛入口を新設（H18. 3. 4供用） 北九州高速全号線に、ETC導入（H20. 11. 1） 北九州高速5号線と北九州市道東田出入口が接続（H22. 12. 15）					

（注）料金改定日は、一次、七次供用を除き供用年月日の翌日です。但し、料金改定のみの場合は同日です。